

○ 身だしなみについて

服装や頭髪等の身だしなみは、個人の品性や心情、生活態度をあらわすものであり、また、学校生活の雰囲気を作り上げる重要な要素でもある。阿波高校の校訓「自主創造」の精神を錬磨する場であるため、その場に適切であるかどうか、一般的規範も含めて生徒自らが考え、品性を保って着こなして欲しい。

- (1) 制服を基本としつつ、季節や状況に応じて服装選択制をとる。
- (2) 制服と同時に着用する靴、靴下、防寒着等は、制服および全体の品性を損ねることのないよう TPO を自ら判断して選択する。また、他者の言葉には真摯に耳を傾け、TPO に関する自らの判断力を磨く糧とする。
※防寒着は防寒を目的とし、制服の型を崩さないものとする。
- (3) 上履は、学校指定のスリッパとする。
- (4) 頭髪は清楚にし、不必要な加工（染髪・パーマ等）をしない。
- (5) 化粧および学校生活に不必要な装飾品等（ネックレス、ピアス、髪飾り、マニキュア等）はしない。

身だしなみについての Q&A

Q①:制服を着用するのはどのような場合ですか？

A:本校の正装は「制服を上下揃いで着用すること」であり、服装選択制の時期以外は正装を原則とします。また、選択制の時期であっても、式典等、学校が指定する日や身分証明書の個人写真撮影の場合等は正装です。

Q②:正装とみなされない服装とはどのようなものですか？

A:たとえば、次のような服装は正装とみなしません。

- ・学生服やジャケットの首元からパーカーのフードを出している。
- ・制服のスカートの下に見える形でジャージ等を着用している。
- ・夏服のブラウスにスカートをはいている。

Q③:「制服を基本としつつ、季節や状況に応じた服装選択制」とは具体的にどのようなことですか？

A:「季節や状況に合わせ、優先すべき安全面や衛生面、健康管理面および各教育活動の目的のために制服の着用よりも機能的かつ合理的と学校が判断したときに、制服以外の服装を生徒が自ら選択できる」ということです。

Q④:選択制になる時期はいつですか？

A:時期については、「季節」・「状況」に応じてその都度学校が判断します。

たとえば、以下のような時期が考えられます。

【季節】

・猛暑の季節

→ ポロシャツ等、涼しくて洗い替えしやすく、汗をかいても着替えられるなどの快適性や健康管理面を優先した服装

・降雪や極寒の季節

→ 防寒対策に優れ、降雪時でも通学しやすい上着やズボン等、健康管理面や安全面を優先した服装

【状況】

- ・部活動の朝練習前や放課後の練習後の登下校
 - 部活動のウェアやジャージ等
- ・各種学校行事等
 - 目的に合った服装（球技大会や文化祭のクラス T シャツ、遠足や修学旅行での服装）
- ・感染症等防止の宣言が出ている場合
 - 感染防止のため、こまめに洗える等衛生面を優先して上記季節に応じた服装を選択

Q⑤:なぜ制服を原則とする期間と服装選択制の期間が併存するのですか？

A:先に示した通り、服装は「個人の品性や心情、生活態度をあらわすものであり、また、学校生活の雰囲気を作り上げる重要な要素」です。よって阿波高校生としての帰属意識の醸成、身だしなみや規範意識の涵養等を目的に、制服の着用を重んじています。一方で、制服の着用よりも制服以外の服装の方が機能的かつ合理的と学校が判断した季節・状況においては服装選択制をとることにします。

Q⑥:「品性を保っての着こなし」とはどのようなことですか？

A:正装の場合は、制服の型を崩さないことです。選択制の時期にどのような服装が学校生活にふさわしいのかは、自分で考え、判断してください。阿波高校の教育目標やスクール・ポリシーを踏まえ、「法的責任」、「社会通念上の必要性」、「自律」が必要最低限の判断基準になります。ふさわしくないとと思われる身だしなみについては生徒会や生徒生活委員会等が中心となって、「生徒側が示す自主規制等」を行うことが望ましいです。教員から生徒に話をすることもあります。これらも判断基準に加え、どのような服装が学校生活にふさわしいのか自律的に判断してください。また、生徒や学校が安全安心であるために、各状況において必要なルールや約束ごとは、学校側から示します。

Q⑦:衣替えの時期は決まっていますか？

A:「制服」であれば、年間を通じて夏服・冬服どちらを着用しても構いません。自らの体調等に応じて判断し、着用してください。